

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立山内西小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	①「主体的に学び続ける教師・児童の育成」 ICT活用により「授業がよくわかる」と回答した児童は95%と高い成果があった。一方で、「授業づくりステップ123」のうち、書く活動・話し合い活動の質には課題が残った。R8年度は、学びのロードマップや見える化シートを活用し、児童の自己調整学習を促す授業改善を進める。 ②「心の教育」 挨拶・返事・言葉遣いは95%が肯定的で、「自分や相手が大切だと思う」児童は98%であった。いじめの早期発見・早期対応は機能していた。R8年度は「3つの笑顔」を軸に、自己肯定感をさらに高める学級経営を推進する。 ③「健康・体づくり」 「健康に食事は大切」と考える児童97%、「朝食をとる」児童96%と概ね達成。R8年度は家庭との連携を強化し、生活リズムの定着を継続する。 ④「働き方改革」 時間外勤務の削減は改善傾向だが職員間で差がある。R8年度は生成AIを活用した校務効率化を進め、子どもと向き合う時間を確保する。
---------------	--

2 学校教育目標	やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く山内西の子
----------	-------------------------------

3 本年度の重点目標	1.主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の深化 2.人権教育の充実と特別支援教育のさらなる充実 3.基本的な生活習慣の定着と児童の健康・体力づくりの向上 4.校務DX(生成AI活用)による働き方改革の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●学びのロードマップ・見える化シートを活用した授業改善 ●書く活動・話し合い活動の質の向上 ●ICT・生成AIを活用した個別最適な学びの推進	○「授業づくりステップ123」のうち、書く活動・話し合い活動でステップ3達成：80%以上 ○ICT活用で「授業がよくわかる」と答える児童：95%以上 ○ロードマップ・見える化シートを活用した授業：全教員	・校内研究で書く活動・対話の質を重点化 ・ロードマップ・見える化シートを全単元活用 ・ICT・生成AIを活用した教材準備・評価の効率化 ・毎日1単位時間以上のICT活用授業							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○挨拶・返事・言葉遣いを意識して行動できる児童：90%以上 ○「自分や相手が大切だと思う」児童：95%以上	・集会活動や運動会、あいさつ運動等で異学年交流の機会を設け、思いやりのある関わり方の意識化 ・人権・同和教育、男女平等教育は全教育課程に位置付け、教育活動の中で周りの人とのつながりを感じさせるとともに、一人ひとりの存在を認め合うことができる指導							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「やまうち合言葉」の「優しい言葉を周りの人」を意識して行動できる児童(自己評価)：90%以上	・「Q-Uアンケート」「いじめアンケート」「教育相談」を実施し、いじめや気になる児童の早期発見・早期対応							
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていいと思う」と回答した児童：85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒：85%以上	・毎日の帰りの会で、いいことをした人や頑張った人を紹介する場を設け、児童の発表に対し、肯定的なコメントをしたり、教師から紹介 ・行事ごとに、キャリアパスポートを活用し、目標を達成できたところや頑張ったことについて振り返ることで、次の目標や将来への意欲につなげる指導							
	○行事や他教科との関連を意識した道徳科の授業実践	○職員アンケートで「行事や他教科等との関連を意識した授業を実施できた」と思う教職員：90%以上	・道徳推進リーダーが、授業を公開したり資料を配布したりして、先生方へ積極的に授業提案をしていく。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上 ○朝食をとって登校する児童：90%以上	・給食時間の放送を通して、食材の産地や調理方法に関心をもち、食事の大切さに気付かせる。 ・各学級で食育指導を行い、食事の必要性に気付かせる。							
	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツなどで体を動かす時間が1週間で280分(1日40分程度)以上の児童：70%以上	・登下校は原則歩いてすることを推奨する。 ・昼休みや休み時間に、外に出て体を動かすよう声掛けを行う。 ・運動委員会の児童に全校遊びを計画							
●特別支援教育の充実	○「コミュニティ・スクール」及び「官民一体型学校」としての開かれた学校づくり	○保護者アンケートで「開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答を90%以上にする。	・地域と連携した教育活動の様子を、学校HPや学校・学級だより等で定期的にかつ積極的に情報発信 ・動画の配信等、通信の手段の工夫							
	○児童理解と支援力の向上及び校内支援体制の強化	○職員アンケートで特別支援に関する理解・支援策を認識して指導する教員：100%	・ケース会議の定期開催 ・個別の支援計画の充実 ・なかまプロジェクトとの運動							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○情報モラル教育の充実	○情報やセキュリティに関する知識の保持、ルールやマナーを守るための授業の実践	○職員アンケートで、情報モラル教育における「再現性・具体性」のある指導ができた教員：90%以上	・情報教育リーダーによる研修 ・生成AIの安全な活用指導・端末利用ルールの徹底 ・授業参観での親子情報モラル教室開							
○教育相談体制の充実	○児童が安心して教育を受けられる相談体制の充実	○心のアンケートや教育相談の実施により児童に寄り添う支援ができた教職員：90%以上	・教育相談期間を定期的に設定したり、心のアンケートに取り組んだりすることで、児童一人一人の状況を把握し、温かい声かけや支援							

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育
----------------	---------------------------